

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議	文書番号	上富子育第 550 号
		決裁期日	平成 30 年 11 月 16 日
名 称	平成 30 年度 第 2 回 上富良野町子ども・子育て会議		
日 時	平成 30 年 11 月 14 日 (水) 13:30~14:30		
場 所	上富良野町保健福祉総合センター 2階研修室		
出席者	子ども・子育て会議委員 13 人(別紙名簿のとおり) 保健福祉課長 鈴木、健康推進班主幹 星野 子どもセンター施設長 山田、子育て支援班 吉河、白井、黒田		
内 容	<p>1 開会 鈴木課長司会進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉課長挨拶 本年 7 月 24 日に第 1 回会議が開催され、期間が空いてしまったが、今回が 2 回目の開催となる。この間、委員の変更が生じたので、後程、事務局よりご報告させていただく。本日の議題については 2 件、大きく 3 項目に分かれている。議題の 1 つは子ども子育て支援事業計画ニーズ調査のアンケートに関わるもの、もう 1 つは前回の会議でご審議賜った子どもの生活実態調査の調査状況についてとなっている。これらの件について委員の皆様のご意見を賜りたい。なお、事前配布資料のほかに、本日配布する資料があり、これについては事務局より後程、ご説明をさせていただく。これらの調査の結果については次年度策定する第 2 次子ども子育て支援事業計画の策定に大きく関わってくるため、委員の皆様には前回同様、慎重なご審議をお願いしたい。 ・変更委員紹介 <ul style="list-style-type: none"> 前回会議から変更のあった委員を紹介 解任 (9/30) : 上富良野西保育園長 増田 光義 選任 (10/1) : 上富良野西こども園長 増田 幸一郎 解任 (9/30) : 認定こども園上富良野高田幼稚園長 増田 修一 選任 (10/1) : 同園長 増田 光義 ・欠席委員の報告 <ul style="list-style-type: none"> 1 号委員 加藤 佳穂 2 号委員 増田 幸一郎 <p>以降、議事については、山本委員長の進行で進める。</p> ・山本委員長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> 前回同様に委員の皆様のご意見をいただき、滞りなく審議を進めていきたい。 		

2 議事

【委員長】 議題1「子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の内容について」事務局より説明をいたします。

【事務局】 議題1について当日配布した資料1に基づいて説明させていただく。このニーズ調査は平成25年に現在の事業計画を策定するにあたって実施されており、第2次事業計画策定にあたり、今回も実施する流れとなっている。調査対象については町内在住の就学前児童の0歳児から5歳児で、対象生年月日は平成24年4月1日から平成30年11月1日までとし、全世帯を対象に考えている。調査の基準日を11月1日とし、調査対象世帯は約370世帯と考えている。就学児童については対象を町内の小学1年生から3年生、対象生年月日を平成21年4月2日から平成24年4月1日とし、約250世帯が対象世帯と考えている。なお、それぞれの対象で兄弟姉妹がいた場合は、一番下の子を調査対象とする。就学前児童と就学児童がいる世帯については、調査票がそれぞれ配布されることとなる。調査期間については12月5日から12月19日までの2週間を予定している。小学校の終業式が12月22日となっているので、その前に回収を終えたいと考えている。

調査票の配布及び回収方法については、就学前児童の教育・保育施設在園児に関しては園を通じて配布・回収をお願いしたい。それ以外の児童については郵送での配布・回収を行いたいと考えている。就学児童については各小学校を通じて配布・回収をお願いしたい。各機関への調査票の持ち込みは12月3日を予定している。

調査の結果については2月中に集計を行い、3月に開催予定の第3回子ども子育て会議にて集計結果のご報告をしたいと考えている。

冒頭の課長の挨拶にもあったが、8月に行った子どもの生活実態調査の結果と今回実施する子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の結果をもとに、次年度に第2次子ども子育て支援事業計画を策定していくこととなる。

次に調査票についてご説明させていただく。事前配布資料にある調査票についてご覧いただきたい。調査票の表紙下部に記載している文字の色についてだが、黒字については国の設問例であり、前回調査した項目となっている。青字については計画を策定するにあたっての量の見込に関するものとなっている。赤字については前回の調査と今回の調査における字句の変更箇所となっている。緑字については町独自の設問項目となっている。第1次事業計画との整合性の確認や評価を行ううえで、黒字と青字で記載されている設問については基本的には字句のみの修正を考えているが、緑字については町独自の質問項目になっているので、変更・削除・追加が可能と考えている。また、今回追加した町独自の質問項目としては、就学児童・就学前児童共通して、子ども子育て包括支援センターの利用実態の設問を追加した。就学児童の調査票では問16、17、就学前児童については問32、33がこの設問にあたる。他に子育ての情報の入手方法・必要な情報の内容についての設問を独自の項目として新たに設けている。これらについては就学児童については問19、20、就学前児童については問35、36がこの設問にあたる。

また、就学前児童の項目に幼児教育無償化に伴う教育・保育施設事業の利用希望についての設問を設けている。これについては就学前児童の調査票の問17, 18 がその設問にあたる。これら以外の項目については、前回調査時と同じ設問となっている。

【委員長】 今一度確認するが、調査票の黒字及び青字については基本的に修正しない設問となっており、緑字については町独自の設問となっている。赤字については前回からの訂正になっている。質問等ないか。

【佐藤根委員】 就学前児童用調査票の問19の上富良野町子育て支援センターを利用しているかどうかの設問があるが、子育てサークルのようなサークル活動も含まれるのか。また、わかりやすい文言を付け加えてみてはどうか。

【事務局】 サークル活動での使用も含まれる。ご指摘のあったとおり、わかりやすい文言を付け加えたいと思う。

【松下委員】 調査票の色分けは本番も同様にするのか。

【事務局】 実際の調査票は色分けしない。今回は説明用として色分けさせていただいている。

【事務局】 本日欠席されている委員からご意見があったので、事務局より説明と回答をさせていただく。加藤委員より、今回の調査票に子ども子育て包括支援センターについての設問を追加したが、補足資料を付け加えることによって、包括支援センターの内容が本当に理解されているのかが分かりにくくなるのではないかというご質問があった。これについてはご指摘のあったとおり、資料を削除し、純粹に包括支援センターのことを知っているかどうかを確認できるように訂正を考えている。

【委員長】 包括支援センターについての項目についてだが、それぞれの設問でセンターの表記ゆれが発生しているので、記載する方が誤解しないよう統一願いたい。また、どの場所でどの事業が行われているかを記載するとより分かりやすいのではないだろうか。

【事務局】 表記ゆれについては誤解を招かないよう統一する。事業の場所についてもそれぞれ付け加えたい。

【委員長】 上富良野町は全国的にもいち早く包括支援センターを設置し、積極的に取り組んできてはいるが、知名度や住民の周知という点ではまだ課題があると考えられる。そのため、この調査において住民の周知の現状を知るという意味合いでも重要だといえる。

【佐藤根委員】 包括支援センターの設問に割と知名度があると思われる「こよ一て」を入れることは出来ないだろうか。

【事務局】 設問に付け加えるよう検討したい。

【及川委員】 調査の配布・回収についてどのようなイメージなのかお聞きしたい。返信用の封筒などは同封されているのか。また、兄弟姉妹がいる場合の配布は、全員に配った中で、下の子どもの分だけ回答していただくのか。

【事務局】 返信用の封筒については調査票が封入されている大封筒に小封筒の返信用封筒を同封する。前回の調査同様にポストに出しても学校に提出してもどちらでも対応できるように考えている。兄弟姉妹については下の子の分

のみ回答していただく。クラスによっては下の子に配布されているため、配布されないという児童がでてくる。教育・保育施設に関しても在園している兄弟姉妹の下の子に対し、園に配布をお願いしたいが、中には上の子のみ入園し、下の子は家で監護している世帯があり、その世帯に関しては、入園していない下の子を対象とし、郵送で対応したいと考えている。ただ、提出の際に園に持参することも考えられるので、その際は受け付けていただきたい。他にも調査票が就学前児童用と就学児童用の2種類回答していただく世帯が、就学前児童用の調査票を小学校に提出することなども考えられるので、その際も受付をお願いしたい。また、配布する際には関係機関ごとに配布対象者リストを作成し、お配りしたい。

【事務局】 補足になるが、配布については基本的に対象となる保護者の方と対象の児童、園児の氏名を表記し、封筒を用意させていただく。各関係機関に誰が対象か分かるように配布対象者リストを作成し、依頼文書ともに事前に調整に伺いたいと考えている。回収については郵送による返送または各学校、各教育保育施設での提出としているため、異なる種類の調査票が提出されることもあるかと思うが、ご理解、ご対応願いたい。

【西間委員】 未提出の世帯に対して、町から何か働きかけなどを行うのか。

【事務局】 期日が過ぎても提出があれば対応する。前回の調査で言えば全体で6割ほどの回収率となっており、4割は未提出となっている。無記名式の調査のため、未提出の世帯に対し、直接声かけをすることなどは難しく、また、調査への協力については自由意志としている。ただ、町としては広報や防災無線などで積極的に周知を行い、より多くの方にご協力していただきたいと考えている。

【委員長】 町の他の調査では回答率はどうなっているか。高齢者を対象にしている調査などはやはり回答率は高いのだろうか。

【事務局】 今年度、保健福祉課で地域福祉計画策定に係るアンケート調査を実施したが、回答率としては約3割となっている。この調査は町内の18歳以上1000人を対象に行った。ただ、この調査の回答率が極端に低いというわけではなく、町の調査としては無作為に行うものは回答率が低い傾向にある。今回の調査のように各関係機関にご協力いただくものについては顔がつながることもあり、比較的高い回答率となっている。町としては調査に協力することか町の施策に繋がることをご理解いただければ回答率に繋がっていくと考えている。

【委員長】 アンケートに回答することがより良い町づくりに繋がっていくことを認識していただきたい。委員の皆様におかれても調査へのご協力、ご周知をお願いしたい。

【委員長】 他に質問等ないか。特に質問がなければ、会議として了承。
次の議題「子どもの生活実態調査状況について」事務局より説明をいたします。

【事務局】 前回の会議でご審議いただいた生活実態調査のアンケート調査を8月24日から9月7日まで実施した。当日配布資料2をご覧いただきたい。全体の詳

細結果についてはこれからになるが、回答率としては平均として61.8%となっている。小5、中2に関しては8割近くの回答があったが、高校生に関しては郵送だったこともあり、2割5分ほどの回答率となった。調査の結果についてクロス集計はまだしていないものの、それぞれの設問ごとの結果概要が記載されている。各設問とのクロス集計を行うことで家計の状況や子どもの状況、進学等について結果を確認していくこととなる。今後、正式な集計結果を受け、町の施策と照らし合わせ、次期の計画に盛り込んでいく。正式な調査結果に関しては、今回のアンケート調査の結果も含め、次回の3月の会議にてお示しできると考えている。

【委員長】 まだ、分析途中ではあるが、設問ごとの調査結果できえも格差に驚いている。今後さらに分析を進めていただきたい。学校や各関係機関の関係者の皆様におかれては、多大なご協力に感謝する。何か質問等あるか。なければ会議として了承。

【委員長】 その他に事務局より何か説明事項あるだろうか。

【事務局】 今後の予定として、先ほども述べたが、次回会議は3月を予定している。二つのアンケートの結果と今年度の事業実施状況の報告を予定している。1月前には詳細な日程をご連絡したいと考えている。

【委員長】 3月の会議までにお気づきの点等があれば、事務局にご連絡願いたい。以上で本会議を終了する。

4 閉会